

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2014 September 10

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粹・意気)ロータリーライフ」

NO.10

例会報告

●第2052回例会 平成26年9月10日(水)晴

●9月は新世代のための月間

●松野一彦東名古屋分区ガバナー補佐訪問日

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 104 名中 出席70名
(92)

出席率76.09% 修正出席率81.00%
(8月27日分)

●ゲスト紹介

・松野一彦東名古屋分区ガバナー補佐
(名古屋東山RC)

・鈴木淑久地区副幹事(名古屋瑞穂RC)

・鈴木宏治東名古屋分区幹事(名古屋東山RC)

●ニコボックス

「訪問費として」

松野一彦ガバナー補佐、鈴木宏治分区幹事
(名古屋東山RC)

鈴木淑久地区副幹事(名古屋瑞穂RC)

「松野ガバナー補佐さん、鈴木地区副幹事さん、鈴木分区幹事さん、ようこそ和合ロータリークラブへおこしいただきました。よろしくご指導願います。」 吉田正道会長

「松野ガバナー補佐様、ようこそ名古屋和合RCへ。財団、VTT委員会でいつも大変お世話になっております。また、今週土曜日のVTT委員会もよろしく願います。」

VTT委員長 福田哲三君

「松野ガバナー補佐、鈴木地区副幹事、鈴木分区幹事をお迎えして」

吉田正道会長、上野山 進副会長

亀井敏勝幹事、田中正次副幹事

武田 猛君、小南速雄君、石原敏夫君

二村伝治君、中野義識君、高木一平君

夏目 稔君、武藤 博君、横井辰幸君

上村晋也君、谷 喜久郎君、田中知克君

松原忠久君、野崎敏夫君、柏木博喜君

宮下幸二郎君、安井隆豊君、石川一郎君

稲川 久君、関 貴之君、中川信治君

今井明雄君、棚橋秀行君、川畑 元君

南 喜幸君、間地 寛君、榎野智之君

安井信之君、岡分孝雄君、端山佳誠君

加藤重和君、柏木順彦君、石川雅迪君

川中有志君、小林利之君、山田和弘君

服部 滋君、山本秀樹君、内間三好君

山村博伸君、久保哲政君、片桐寛治君

浅野 洋君、小栗正幸君、桑山卓也君

山本文彦君、亀谷喜敬君、相羽繁生君

近藤東臣君、服部雅紀君、坂倉弘康君

梶田浩太郎君、久保和彦君

「本日74才になりました。誰の事と云う感じですか。」

夏目 稔君

「マレーシアのバンドルサンウェイククラブでメーキャップしてきました。」 坂倉弘康君

「ソーラーパークが完成しました。年間収益は8,000万の予定です?」 林 邦司君

本日のニコボックス	6件	142,000円
累 計	60件	730,000円

亀井敏勝幹事報告

▽当クラブ行事予定

・9月10日(水) 本日、ガバナー補佐訪問日、例会終了後、ガバナー補佐を交えて、クラブアッセンブリーを行います。理事、役員、各委員長、新入会員のご出席をお願い致します。

・9月24日(水) ガバナー公式訪問日です。尚、例会終了後、理事会を行います。

・10月15日(水) 規定休日のため、休会です。

※10月29日(水)、例会終了後に予定しておりました理事会は、吉田会長欠席のため、10月22日(水)、例会終了後に行います。

※9月16日(火)に予定しておりました、名古屋名東RCのビジター受付は、通常例会となりました。11時30分~12時30分のビジター受付は、ございません。

吉田正道会長挨拶

“ガバナー補佐をお迎えして”

本日は松野ガバナー補佐をお迎えしております。後ほど卓話をいただきます。冒頭、会員の皆様方に一言、申し上げておかねばならないことがあります。我がロータリークラブには、特別なお客様をお迎えする際に、入場時の歓迎の拍手、そして和合ロータリークラブが誇る「ウエルカムソング」の合唱をもって最上のおもてなしセレモニーとしています。今回、松野ガバナー補佐からのたつてのお申し出で、来訪の際は、一般のゲストと同様に扱ってほしいとのことでした。従いまして心ならずも、涙をのんでお申し出のようにセレモニーは省略させていただきました。会場運営委員会の落ち度ではありませんのでよろしく。この分、次々週の近藤ガバナー訪問時にはいっそうの友愛の心でお迎えしたいと思います。2760地区には、尾張地方3分区、三河3分区、名古屋市内在が2分区の8分区があります。名古屋東分区12クラブを文字通り、激務となるガバナーを「補佐」する責任を負われているのが松野ガバナー補佐であります。クラブの管理面に付随する任務の多くを、補佐されており、本日も例会前に私と上野山副会長、亀井幹事、田中副幹事が参加し、ご指導をいただきました。冒頭に我がクラブは伝統と革新が並立する素晴らしいクラブで名古屋東分区の中でもっとも敬愛するクラブとのお褒めの言葉をいただきました。その他貴重なご指導、ご示唆をいただきました。

例会終了後にはクラブアッセンブリーに臨席いただき、ご指導をいただくこととなっています。

さて、先日の日曜日に地区の青少年ミットが開催され山本委員長と出席させていただきました。詳細の報告は山本委員長よりいずれあるかと思えます。地区青少年奉仕の事業はインターアクト、ローターアクト、RYLA、交換留学生の4事業です。次世代を担う若者の指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解などを目的としています。報告会議では各委員長さん、それぞれの会員、帰国留学生、関係者のみなさんからの報告を聞いたわけですがとりわけ若い人たちから国際会議などでの他国のメンバーとの交流の様子があつく語られていたのが印象的でした。三毒の煩惱に侵され、娑婆の垢で心の鏡が曇ったわたくし自身には何とも若者のあつい姿がまぶしくてしょうがありませんでした。

卓 話

松野一彦東名古屋分区ガバナー補佐
本年度、RI - 2760地区東名古屋分区ガバナー補佐を拝命しました名古屋東山RC（以降、東山RC）所属の松野一彦です。よろしくお願ひします。

<東山RC拡大のお話>

現在の会員様でご存じない方がいらっしゃるかもしれませんので、名古屋和合RC（以降、和合RC）様の偉業の一つである18年前の東山RCの誕生についてお話いたします。

- ・和合RC様25周年の記念事業として会員の皆様のお力で東山RCが誕生しました。特別代表は和合RC初代会長の（故）相羽様、東山RCは（故）古谷初代会長のもとチャーターメンバー47名でスタートしました。
- ・石原会長、谷幹事のお力添えで、加治佐様には事務局探すと家賃交渉、小中様には『日は東の山（丘陵）から出』から東山RCと名前を頂き、夏目様や事務局員の西尾峰さんには毎週のようにお越し頂き、例会の手順や準備、案内の書き方などなど、基礎知識からロータリーソングの練習までご指導頂きました。
- ・チャーターナイトでは、皆さんのご指導の下、地区内の全クラブに出席のお願いに上がり、日曜日の夜にも拘らず地区内75RC全クラブから900名弱の登録を頂き、会員一丸となり盛大な式典が出来ました。
- ・今では、40名を切り小じんまりしたクラブになりましたが、メンバー間の仲が非常に良くホームの出席率も90%を超える例会が多く（先週100%出席達成!）これからも楽しみなクラブに育ちました。ここに、ご報告と御礼を申し上げます。

<地区とガバナー補佐についてのお話>

ロータリー100周年位を機に将来の繁栄に向け、国際ロータリー（以降、RI）はDPL（地区リーダーシップ計画）を採択し地区内の指導者の育成に力を入れる様になりました。そして、各地区でCPLも取り入れる様に成りロータリークラブ（以降、RC）は大きく舵を切って来たように思います。此処で言うリーダーとは、クラブの会長・幹事・委員長さんを称しての事です。

地区とは? : RIはRCを統括している組織で、地区は管理の便宜上結び付られた一定の地理的な地域内にあるRCのグループです。そして役割は、各RCの活動を効果的に行うためのお手伝いをする事です。

ガバナー補佐とは? : まず、ガバナーとは? その地区におけるRIの管理役員で、その職務は、地区内クラブを啓発し意欲を与える事、また、地区内の継続性を確保する事によりクラブを指導し支援する事です。RI理事会決

定により世界の全地区がDLPを採用し当地区は1999 - 2000年度にDLPの重要な構成要素の一つであるガバナー補佐制度を導入しました。

<ガバナー補佐・地区研修リーダー・地区委員長の任務>

- 地区は各クラブに対して迅速な、且つ懇切丁寧な支援を行う。
- 地区内に十分な研修を受けた多くの人材を養成する。
- ガバナー候補者の裾野を広げる。
- 財団プログラムや地区活動プログラムへの参加者を広める。
- 地区内のコミュニケーションを円滑にし、地区組織を効果的に機能させる。
- ガバナーが地区の重要な事項に取組める時間を増やす。

<方針と奉仕活動のお話>

RCは単年度の活動です。方針に基づいた“活動”をビジョンの基に続けることでそれが“運動”に成ります。そして、その先の“めざす姿”は、“ロータリーの目的”であります。

小職所属の東山RCのRCC愛知池友の会は、愛知池の自然環境保護の活動をしています。このNPOとの出会いは、東山RC5周年と10周年の記念に桜を植樹し、この並木のうっそうとした雑草を見かねメンテナンスして頂いた事からです。

また、2年ほど前に、東山RCの桜並木に地元のライオンズクラブがベンチを置いてくれました。今では、愛知池の管理道路を散歩やジョギングする地元人達が、手入れのされた桜並木を眺めながらベンチに腰掛け一時の自然に接する自然環境スポットと成っています。

25年前は、愛知池は水資源公団の管理下で事故等を懸念し、この一帯立入禁止に成っていました。地域住民に自然環境保護意識を高めるために地元JCが百年森運動（現在も継続）と言う活動を商工会青年部を巻込んで実施していました。この活動を愚直に継続的活動する事で少しずつ人々が集まる様に成り地域の人達の自然環境に対する意識も高まり、愛知池の管理も少しずつ緩和される様になりました。

いろいろな奉仕団体が、目的を同じくする活動を展開する事で素晴らしい結果をもたらして行くと思います。是非これからも進化した運動にしていきたく思います。

<会員増強のお話>

いま、何処のロータリークラブも会員が減少し組織力、財政力、奉仕活動のパワー全てが低下し地区内での最重点課題になっています。

近藤ガバナーが言っている会員増強は、増強によるクラブの多様化（年齢、性別、職業、宗教…）であって、増ではなく強であります。また、小職は、RCとは多様化がゆえ”人儲けの場所”であると思っています。

和合RC様も、この5年で32名の会員が増えました。職業、性別、世代の違うメンバーです。これは、多様性と言う意味で新たな血を交えたことで、当RCの新たな発想力や行動力の源となり、その可能性は数倍増したと思っています。入会3~5年迄のメンバーさんには、指導力を持った先輩の方が、RCの魅力を見付け出して貰える様な指導教育や接し方をして頂く様をお願いします。

雑駁で取留めない話でしたが、本日の卓話と致します。

例会	月日	今後の予定
第2053回	9.17	愛知学院大学 経営学部 経営学科教授 岩田憲明氏 「名古屋の企業に学ぶ中小企業経営」
第2054回	9.24	近藤雄亮国際ロータリー 第2760地区ガバナー公式訪問日

○このウィクリーは再生紙を使用しております。